

図書館だより

6月号

梅雨や台風などの影響で、雨の日や蒸し暑い日が続いていますね。そんな日は図書室で過ごすのもおススメです。下の写真のように、イベントに参加したりチャレンジ読書や新聞スクラップの好きな記事を読んだりするのもいいですね。本の整理をしてくれる人もいます。いろんな過ごし方ができる図書室で、心穏やかに過ごしましょう。



かいとうしょう

海道小 とちぎウィーク!!

6月15日は、栃木県民の日。今から150年前の明治6年（1873年）に、栃木県と宇都宮県が合併して、おおむね現在と同じ県域の栃木県が成立した日です。

海道小では、一人一人が故郷への理解と関心を深め、県民としての一体感のもと、より豊かな栃木県を作っていけるよう、社会科の学習の一環として6/12（月）～16（金）まで「海道小 とちぎウィーク!!」を実施します。学校の中に、とちぎの名物といっしょに隠れているとちまるくんを見つける“とちまるくんをさがせ”に

参加しませんか？図書室でも下野新聞の週刊しもつけ子どもタイムズを読んで答える栃木県クイズ、迷路やぬりえなどを用意しています。クイズの解答用紙は、そのまましおり交換補助券として使えます。ぜひひ参加して、とちぎ博士をめざそう。



ボランティアのみなさん ありがとうございます！

5月24日（水）に今年度初めての図書ボランティアさんの活動がありました。業間に図書室に来た児童と話をし、和やかな雰囲気の中、図書室を整備してくださっていました。また6月8日（木）にはボランティアのみなさんが読み聞かせをしてくださいました。子どもたちは真剣なまなざしを送り、教室には素直な感想や笑顔が飛び交っていました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。





今年も4月から学年ごとに「チャレンジ読書」を実施しています。計画的に本気で取り組む人も増えています。達成した人には、1ヶ月間何度でも使えるプラスワン券もプレゼント！早くも達成した人たちを紹介しします。

チャレンジ読書 達成

おめでとう！

4-1 岡川 杏咲 さん
4-1 本澤 叶望 さん



新しい本のおしらせ

今年の青少年読書感想文コンクールの課題図書が入りました。ここでは低・中・高学年ごとの4冊の中から、1冊ずつ紹介します。図書室で借りられますので、ぜひ手に取ってみてください。読書感想文の書き方についての本も一緒に展示しています。



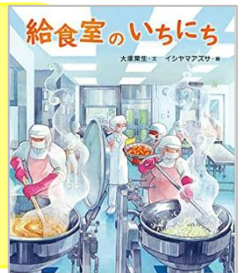
「よるのあいだに」 ポリー・フェイバー 文 ハリエット・ホブデイ 絵
中井 はるの 訳 B.L.出版

1・2年生

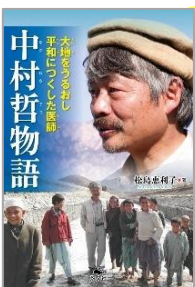
私たちがねている夜も、町では明かりがいっぱい。大きなビル、夜の道、線路の上…たくさんの人が働いている。ふだん直接目にする事の少ない、夜間に働く人たちの仕事を通して、社会や人々のつながりを描いた絵本です。

3・4年生

「給食室のいちにち」 大塚菜生 文 イシヤマアズサ 絵 少年写真新聞社
給食室には、いろいろなひみつがあります。調理員さんのエプロンや靴の色が違うのはどうして？給食を最初に食べるのはだれ？いつも食べている給食は、どんな風につくられているのかな？給食が教室に届けられるまでの給食室のいちにちをのぞいてみよう！



5・6年生



「中村哲物語 大地をうるおし平和につくした医師」 松島恵利子 著 汐文社
「治療どころではない。まず水が必要だ。」病気が飢えに苦しむアフガニスタンの人々を目の当たりにした中村医師は、白衣を脱ぎ、驚きの行動に出ます。それは砂漠となった土地に用水路をつくり、緑の大地をよみがえらせること…。波乱に満ちた生涯をつづった心に響く伝記です。



「みみずのオッサン」 長 新太 さく 童心社
「オッサン」という名前のミミズが散歩に出かけたら、ペンキをつくる工場が爆発して、ヌルヌルベトベト。カラフルで楽しい絵本。ミミズの役割に深く考えさせられる面もあり、子供から大人までに読んでほしい一冊です。

おすすめ本の紹介

「きつおんガール」

うまく話せないけど、仕事してます」
小乃おの 著 合同出版
「あ、あ、……（ありがとう）」うまく言葉が出てこない……。吃音で悩んでいたときのこと、言葉がスムーズに出せない感覚、恩師の言葉、社会福祉士としての仕事のこと。著者の経験がまんが形式でわかりやすく描かれています。

